

令和元年

第3回市議会定例会 報告第9号

平成30（2018）年度一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構決算の報告について

一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構の平成30（2018）年度決算を別紙のとおり報告する。

令和元年9月2日提出

函館市長 工藤 壽 樹

（根拠規定）

地方自治法第243条の3第2項

平成30（2018）年度決算に関する書類

（自 平成30（2018）年4月 1日
至 平成31（2019）年3月31日）

1 事業の概要

当機構は、平成31（2019）年3月31日をもって、第10期事業年度を終了した。

「函館国際水産・海洋都市構想」が策定されてから16年が経過し、その理念に基づき、事業の推進に努めてきた。また、設立5年目を迎えた函館市国際水産・海洋総合研究センター（以下、海洋研究センター）が構想推進の中核研究施設となり、今日まで積み重ねてきた産学官連携の各種取り組みを着実に進めてきた。活動の柱として掲げている（1）運営に関する事業（評議員会・理事会・委員会等の開催）、（2）水産・海洋に関する学術研究機関の集積に関わる事業、（3）地域と学術研究機関の連携に関わる事業、（4）観光と学術研究機関の融合に関わる事業、（5）水産・海洋と市民生活の調和に関わる事業、（6）水産・海洋分野等に関わる調査・研究に関する事業、（7）海洋研究センターの指定管理者事業、（8）その他公益目的を達成するために必要な事業について、様々な取り組みを行った。

主な事業としては、海洋研究センターの指定管理者として、施設の管理運営を行うとともに、入居機関や地域との連携研究に向けた産学官によるコーディネート業務や調査業務を行った。

水産・海洋に関する学術研究機関の集積に関わる事業では、4月に国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下、JAMSTEC）と函館市、当機構との3者による包括連携協定を締結した。今回の協定は、研究協力や人材交流、海に関する市民の関心の向上や学習機会の創出、研究施設や設備の相互利用に関する連携であり、今後の学術研究機関の集積や研究活動の充実に繋がるものとなった。連携協定事業の一環として、12月に3者の共催により、津軽海峡における海洋環境観測の情報共有を目的として、第2回海洋環境モニター報告会を開催した。

また、7月には、韓国の水産教育の代表的な研究機関である国立釜慶大学校水産科学研究所との間で、教育と学術研究に関する連携協定を締結した。協定の締結により、相互利益をもたらす学術協力および交流を促進することで、国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点の形成に一步を踏み出すこととなった。連携協定の締結を受けて、12月には、韓国の釜慶大学校で開かれた「環太平洋国際学術大会」に招聘され、「一つの海洋、国際化と環太平洋協力」をテーマに、当機構から 嗟峨 直恆 機構長、申 東煥 連携研究員が発表するとともに、地域の学術研究機関を代表し、公立はこだて未来大学のバゲンダ・ドミニク 准教授が発表を行った。学会の誘致に関しては、6月に2nd Oceanoise Asia（アジア水域における海洋生物への騒音影響に関する科学的研究と啓蒙を目的としたシンポジウム）や第29回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナーが開催されたほか、9月に

は、バイオロギング研究会，12月には，第12回サケ学研究会が開催され，日本国内のみならず，アジアをはじめ世界各国から研究者が海洋研究センターに集まった。

地域と学術研究機関の連携に関わる事業では，5月に市内の水産関係5団体の協力を得て「イカ資源の評価と予測に関する講演会」を開催し，各専門分野の研究者を招いて，近年のスルメイカの不漁要因や今後の資源動向の予測について，報告を行った。近年のイカ漁の不漁について参加者の関心は高く，約220名もの参加があった。

また，近年の函館地域の重要な水産資源であるイカ・コンブ・サケ等の漁獲量の減少に伴い，道南地域での魚介藻類の増養殖に関する研究開発の機運も高まりつつある中，地元企業（株式会社古清商店）からの受託研究として，養殖対象魚種の選定と養殖場所の調査を行うとともに，平成31（2019）年1月末からは，海洋研究センターのバックヤードにおいてドナルドソンニジマスの試験飼育を行った。

観光と学術研究機関の融合に関わる事業では，4月にJAMSTECが所有する，深海調査研究船「かいれい」の，函館初寄港を記念するイベントとして船内の一般公開を開催した。当日は天候にも恵まれ，2日間合わせて4,328名が船内見学に訪れ，操舵室やリサーチルーム，海底地震計など，最新の研究の一端に触れる貴重な機会となった。毎年恒例の事業として当機構が主催，事務局として実施している，函館イカマイスター養成講習会および認定試験は，第12回目の実施となり，新たに33名のイカマイスターが誕生し，累計で761名となった。また，海洋研究センターにおいては，昨年度に引き続き，2トンの常設円形水槽の設置によるイカの飼育展示を通年でを行い，ヤリイカの産卵行動や卵塊の観察を可能にした。

水産・海洋と市民生活の調和に関わる事業では，7月に市民参加型のイベントとして「マリンフェスティバル2018」を2日間にわたり開催した。5年目の開催となった今回は，海洋研究センターならではの展示として，大型実験水槽において，北海道大学北方生物圏フィールド科学センターの協力のもと，「スルメイカの行動観測と群泳展示」と題して実験の様子を公開したほか，海を学ぶものづくり体験をはじめ，海藻おしばづくりや折り紙，パズル，タッチプールなど子ども達への海洋教育を目的としたプログラムの実施に加えて，料理教室や官庁船の見学会，海産物や加工品の販売など，多彩なプログラムを入居機関や海のサポーター，国の関係機関，地域の関係団体等からの協力を得て実施し，過去最高となる6,780名もの市民や観光客の来場となった。3月には，一般市民向けに海洋研究センターの成果発表会として「函館国際水産・海洋都市構想シンポジウム」を開催し，入居機関による研究成果発表やポスターセッションを通して，海洋研究センターでの水産・海洋に関する研究開発事業の内容やその成果について報告した。

水産・海洋分野等に関わる調査・研究に関する事業では，設置3年目を迎えた「函館頭足類科学研究所」において，桜井泰憲所長による頭足類（イカ・タコ類）

を中心とする漁業対象種の生態・資源研究，および高鮮度付加価値化や有効利用に関する受託研究や，漁海況情報に基づく南かやべ沿岸の定置網への小型マグロ入網予測と回避・放流手法に係る受託研究に取り組んだほか，今後の環境変化に応答する漁業対象種の資源変動の解明と将来予測，資源の持続的利用に貢献するための調査研究を推進した。

その他，海洋研究センターの視察対応をはじめ，パンフレットやニュースレターを発行し，函館国際水産・海洋都市構想や当機構の取り組みを広く広報したほか，地域のための水産・海洋に関する情報や産学官連携の取り組みについて，当機構のホームページやメールマガジンによる情報発信を行うとともに，連携研究員が学会や地域でのシンポジウムや報告会等へ出席し，産学官との連携や交流を推進した。

2 事業の実施状況

(1) 水産・海洋に関する学術研究機関の集積，地域と学術研究機関の連携および調査・研究に関わる事業

定款第4条第1項第1号，第2号，第5号に掲げる事業を次により行った。

ア 水産・海洋関係機関に対する誘致活動

- ・国立研究開発法人などの研究機関や民間企業等への誘致活動および情報交換を行った（13件）。

イ 水産・海洋分野の学会，講演会などの開催支援

【学会・講演会などの開催状況】

名 称	開催場所	実施内容
2nd Oceanoise Asia	国際水産・海洋総合研究センター	アジア水域における海洋生物への騒音影響に関するシンポジウムが開催された。
第29回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー	国際水産・海洋総合研究センター	この種の疾患の疫学的な全体像を把握するため，調査フィールドとの一体性を重視した討議やフィールド視察を通じた，学術的成果を各方面に提供するセミナーが開催された。
バイオリギング研究会	国際水産・海洋総合研究センター	海洋動物の行動や生理，社会行動，生物環境など多岐にわたる分野を対象にもつバイオリギング研究に関する講演が行われた。
第12回サケ学研究会	国際水産・海洋総合研究センター	日本におけるサケの多面的な価値について再考し，特に地域資源としての活用を視野に入れた「サケの価値の多様性」とその可能性について議論が行われた。

JAMSTEC海洋環境モニター報告会	国際水産・海洋総合研究センター	青函圏域における学術研究機関との連携推進の一環として、JAMSTECむつ研究所が津軽海峡域で行っている、海洋環境観測等についての情報共有を目的とした報告会を開催し、約100名が参加した。
平成30年度イカ資源の評価と予測に関する講演会	国際水産・海洋総合研究センター	イカの生態や近年の資源動向、資源量および漁獲量の関係ならびに北海道や太平洋域における資源量調査結果をもとにした来遊状況について講演会を開催し、約220名が参加した。
第48回北洋研究シンポジウム	国際水産・海洋総合研究センター	函館頭足類科学研究所の桜井所長より、南茅部地区で起きたクロマグロの定置網への大量入網と対策について解説が行われた。
海藻活用研究会シンポジウム	国際水産・海洋総合研究センター	海藻産業の将来に向けた講演や「がごめ料理」の試食会が行われ、関係者など約150名が参加した。

ウ 地域の学術研究機関等との連携協定の締結

- ・ JAMSTEC、函館市、当機構の3者で、研究協力や人材交流、海に関する市民の関心の向上や学習機会の創出、研究施設、設備の相互利用を目的とした包括連携協定を締結した。
- ・ 韓国の代表的な研究機関である国立釜慶大学校水産科学研究所と当機構において、相互利益をもたらす学術協力および交流を促進するため、教育と学術研究の連携協定を締結した。

(2) 観光と学術研究機関の融合に関わる事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業を次により行った。

【主な開催事業】

名称	開催場所	実施概要
イカマイスター養成講習会・認定試験	国際水産・海洋総合研究センターほか	市の魚である「イカ」について、その生産・流通・加工・販売・料理法等を熟知する「函館イカマイスター」を養成し、認定するための講習会等を実施した。
JAMSTEC深海調査船「かいいい」一般公開	国際水産・海洋総合研究センター前弁天岸壁	JAMSTECが所有する深海調査船「かいいい」の函館港初寄港を記念するイベントとして、一般公開を行い、4,328名が船内見学に訪れた。

(3) 水産・海洋と市民生活の調和に関わる事業

定款第4条第1項第4号に掲げる事業を次により行った。

【主な開催事業】

名 称	開催場所	実施概要
函館マリンフェスティバル 2018	国際水産・海洋総合研究センター	水産・海洋に親しむ市民参加型イベントとして開催。大型実験水槽において実験の様子を公開したほか、海を学ぶものづくり体験や、子ども達への海洋教育を目的としたプログラムを中心に、入居機関や海のサポーターの協力を得たほか、国の関係機関や地域の関係団体等と連携して実施し、6,780名の来場があった。
くじらフェスティバル	国際水産・海洋総合研究センター	鯨肉の食文化を見直す機会として開催。くじらを使った料理教室やパネル展示、キッズコーナーでの塗り絵やクイズが行われた。
函館国際水産・海洋都市構 想シンポジウム	国際水産・海洋総合研究センター	海洋研究センターに入居する学術研究機関や企業による取り組みや成果についての発表およびポスターセッションを実施した。
水産海洋に関する体験学習 などの受入れ	国際水産・海洋総合研究センター	市内外からの小中学校等を受け入れ、体験学習などを行った。

(4) 広報に関わる事業

ア 各種リーフレットの発行，ホームページの更新

イ ラジオや関係団体における講演等による周知活動の実施

(5) 函館市国際水産・海洋総合研究センターの維持管理に関わる事業

ア 指定管理者としての施設の維持管理

3 平成30(2018)年度 計算書類

(1) 貸借対照表

平成31(2019)年3月31日現在

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,111,467	3,211,301	△ 99,834
未収金	0	19,073,753	△ 19,073,753
前払費用	6,995	6,995	0
立替金	2,760,452	2,354,456	405,996
仮払金	0	0	0
流動資産合計	5,878,914	24,646,505	△ 18,767,591
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	36,905,152	36,905,152	0
定期預金	94,848	94,848	0
基本財産合計	37,000,000	37,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	7,202	706,714	△ 699,512
その他固定資産合計	7,202	706,714	△ 699,512
固定資産合計	37,007,202	37,706,714	△ 699,512
資産合計	42,886,116	62,353,219	△ 19,467,103
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	111,162	119,192	△ 8,030
未払費用	3,269,190	3,330,111	△ 60,921
未払法人税等	151,300	171,900	△ 20,600
未払消費税等	1,606,300	1,204,400	401,900
預り金	18,000	97,940	△ 79,940
短期借入金	0	19,000,000	△ 19,000,000
賞与引当金	832,239	825,146	7,093
流動負債合計	5,988,191	24,748,689	△ 18,760,498
2. 固定負債			
固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	5,988,191	24,748,689	△ 18,760,498
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	37,000,000	37,000,000	0
(うち函館市出えん金)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
指定正味財産合計	37,000,000	37,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	(37,000,000)	(37,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	△ 102,075	604,530	△ 706,605
正味財産合計	36,897,925	37,604,530	△ 706,605
負債及び正味財産合計	42,886,116	62,353,219	△ 19,467,103

(2) 正味財産増減計算書総括表

平成30(2018)年4月1日から平成31(2019)年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	円	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
ア 基本財産運用益			62,244		62,244
基本財産受取利息 収益			62,244		62,244
イ 事業収益	233,240	79,165,963			79,399,203
管理委託料		79,165,963			79,165,963
検定料収入	233,240				233,240
ウ 受取補助金等	5,432,699	200,000	14,719,838		20,352,537
受取国庫補助金					0
受取地方公共団体 補助金	2,689,000		14,719,838		17,408,838
受取民間助成金		200,000			200,000
受取受託研究費	2,743,699				2,743,699
エ 雑収益	9,005	31,695	21		40,721
受取利息	5	160	21		186
雑収益	9,000	31,535			40,535
経常収益計	5,674,944	79,397,658	14,782,103	0	99,854,705
(2) 経常費用					
ア 事業費	5,317,363	79,070,319			84,387,682
企業誘致および産学連 携促進に係る事業		1,035,867			1,035,867
観光と学術研究機関の 融合事業	571,785				571,785
水産・海洋と市民生活 の調和事業	1,442,560	331,304			1,773,864
広報に関わる事業	490,989	516,796			1,007,785
戦略的基盤技術高度化 支援事業					0
受託研究事業	2,812,029				2,812,029
学術機関と漁業との連 携促進事業					0
国際水産・海洋総合研 究センター維持管理		77,102,463			77,102,463
水産・海洋に関わる調 査・研究事業		83,889			83,889
イ 管理費			16,022,328		16,022,328
経常費用計	5,317,363	79,070,319	16,022,328	0	100,410,010
当期経常増減額	357,581	327,339	△ 1,240,225	0	△ 555,305
2. 経常外増減の部					

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	円	円	円	円	円
経常外収益					0
経常外費用					0
当期経常外増減額					0
他会計振替額	△ 357,581	△ 882,644	1,240,225		0
税引前当期一般正味財産増減額	0	△ 555,305	0	0	△ 555,305
法人税, 住民税及び事業税	0	151,300	0	0	151,300
当期一般正味財産増減額	0	△ 706,605	0	0	△ 706,605
一般正味財産期首残高	1	△ 1,669,981	2,274,510	0	604,530
一般正味財産期末残高	1	△ 2,376,586	2,274,510	0	△ 102,075
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益			62,244		62,244
一般正味財産への振替額			62,244		62,244
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	37,000,000	0	37,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	37,000,000	0	37,000,000
III 正味財産期末残高	1	△ 2,376,586	39,274,510	0	36,897,925

(3) 正味財産増減計算書

平成30(2018)年4月1日から平成31(2019)年3月31日まで

ア 公益目的事業会計

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	0	0	0
イ 事業収益	233,240	206,080	27,160
検定料収入	233,240	206,080	27,160
ウ 受取補助金等	5,432,699	24,989,831	△ 19,557,132
受取国庫補助金	0	19,073,753	△ 19,073,753
受取地方公共団体補助金	2,689,000	1,790,000	899,000
受取受託研究費	2,743,699	4,126,078	△ 1,382,379
エ 雑収益	9,005	16	8,989
受取利息	5	16	△ 11
雑収益	9,000	0	9,000
経常収益計	5,674,944	25,195,927	△ 19,520,983
(2) 経常費用			
ア 事業費	5,317,363	26,266,589	△ 20,949,226
観光と学術研究機関の融合事業	571,785	593,229	△ 21,444
旅費交通費	44,680	26,090	18,590
通信運搬費	4,332	12,158	△ 7,826
消耗品費	76,377	82,098	△ 5,721
印刷製本費	64,800	101,995	△ 37,195
賃借料	147,638	137,838	9,800
諸謝金	225,000	225,000	0
租税公課	8,418	5,782	2,636
手数料	540	2,268	△ 1,728
水産・海洋と市民生活の調和事業	1,442,560	1,369,366	73,194
通信運搬費	2,716	4,229	△ 1,513
消耗品費	270,231	142,425	127,806
印刷製本費	323,136	309,150	13,986
保険料	45,000	54,000	△ 9,000
諸謝金	303,830	229,210	74,620
委託費	387,843	475,200	△ 87,357
広告料	32,400	32,400	0
手数料	12,436	11,760	676
車両関係費	0	67,920	△ 67,920
管理運営費	4,968	0	4,968

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
雑費	60,000	43,072	16,928
広報に関わる事業	490,989	982,065	△ 491,076
印刷製本費	226,152	260,280	△ 34,128
委託費	259,200	716,040	△ 456,840
広告料	3,909	3,909	0
手数料	1,728	1,836	△ 108
戦略的基盤技術高度化支援事業	0	19,076,453	△ 19,076,453
旅費交通費	0	586,454	△ 586,454
通信運搬費	0	8,936	△ 8,936
印刷製本費	0	32,400	△ 32,400
諸謝金	0	35,600	△ 35,600
手数料	0	2,700	△ 2,700
再委託費	0	18,322,298	△ 18,322,298
間接経費	0	88,065	△ 88,065
受託研究事業	2,812,029	4,245,476	△ 1,433,447
給料	920,000	0	920,000
旅費交通費	516,719	1,625,542	△ 1,108,823
通信運搬費	1,577	18,893	△ 17,316
消耗品費	797,507	2,297,171	△ 1,499,664
印刷製本費	0	46,267	△ 46,267
光熱水料費	326,370	42,660	283,710
賃借料	13,483	10,044	3,439
諸謝金	0	92,260	△ 92,260
租税公課	67,548	93,326	△ 25,778
委託費	15,120	0	15,120
会議費	13,000	0	13,000
手数料	2,916	9,668	△ 6,752
車両関係費	43,469	9,645	33,824
間接経費	94,320	0	94,320
経常費用計	5,317,363	26,266,589	△ 20,949,226
当期経常増減額	357,581	△ 1,070,662	1,428,243
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
他会計振替額	△ 357,581	1,070,662	△ 1,428,243
当期一般正味財産増減額	0	0	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
一般正味財産期首残高	1	1	0
一般正味財産期末残高	1	1	0
II 指定正味財産増減の部			
(1) 基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	0	0
(2) 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
(3) 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1	1	0

イ 収益事業等会計

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	0	0	0
イ 事業収益	79,165,963	83,765,963	△ 4,600,000
管理委託料	79,165,963	83,765,963	△ 4,600,000
ウ 受取補助金等	200,000	200,000	0
受取民間助成金	200,000	200,000	0
エ 雑収益	31,695	24,578	7,117
受取利息	160	178	△ 18
雑収益	31,535	24,400	7,135
経常収益計	79,397,658	83,990,541	△ 4,592,883
(2) 経常費用			
ア 事業費	79,070,319	83,521,637	△ 4,451,318
企業誘致および産学連携 促進に係る事業	1,035,867	1,710,647	△ 674,780
旅費交通費	637,456	1,109,234	△ 471,778
通信運搬費	14,180	5,040	9,140
諸謝金	98,000	26,360	71,640
租税公課	0	64,788	△ 64,788
図書新聞費	142,751	221,646	△ 78,895
会議費	132,400	220,700	△ 88,300
手数料	1,080	1,972	△ 892
車両関係費	0	50,907	△ 50,907
諸会費	10,000	10,000	0
水産・海洋と市民生活の 調和事業	331,304	1,310,603	△ 979,299
旅費交通費	142,590	188,120	△ 45,530
通信運搬費	3,704	15,338	△ 11,634
消耗品費	26,606	228,849	△ 202,243
印刷製本費	43,200	79,920	△ 36,720
保険料	18,000	0	18,000
諸謝金	32,400	99,120	△ 66,720
租税公課	0	41,163	△ 41,163
委託費	54,000	632,609	△ 578,609
会議費	9,400	22,500	△ 13,100
手数料	1,404	2,984	△ 1,580
広報に関わる事業	516,796	915,984	△ 399,188

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
印刷製本費	167,400	167,400	0
賃借料	88,252	88,252	0
租税公課	0	16,976	△ 16,976
委託費	259,200	641,520	△ 382,320
手数料	1,944	1,836	108
学術機関と漁業との連携 促進事業	0	4,646,421	△ 4,646,421
給料	0	3,600,000	△ 3,600,000
諸手当	0	49,200	△ 49,200
法定福利費	0	477,285	△ 477,285
福利厚生費	0	7,038	△ 7,038
租税公課	0	129,072	△ 129,072
手数料	0	7,560	△ 7,560
車両関係費	0	376,266	△ 376,266
国際水産・海洋総合研究 センター維持管理	77,102,463	74,816,598	2,285,865
給料	21,248,551	19,077,860	2,170,691
諸手当	3,795,650	3,799,280	△ 3,630
法定福利費	3,807,789	2,975,732	832,057
退職給付費用	136,080	168,000	△ 31,920
福利厚生費	54,967	73,092	△ 18,125
通信運搬費	247,477	371,720	△ 124,243
消耗什器備品費	0	1,428,332	△ 1,428,332
消耗品費	750,450	668,469	81,981
修繕費	1,908,284	911,628	996,656
印刷製本費	114,886	310,484	△ 195,598
燃料費	118,529	32,469	86,060
光熱水料費	10,545,841	12,307,528	△ 1,761,687
賃借料	806,112	279,936	526,176
租税公課	2,783,134	2,146,897	636,237
委託費	29,369,862	29,324,414	45,448
手数料	29,484	30,152	△ 668
車両関係費	1,385,367	910,605	474,762
雑費	0	0	0
水産・海洋に関わる調査・ 研究事業	83,889	121,384	△ 37,495
通信運搬費	2,775	2,168	607
消耗品費	13,866	23,208	△ 9,342
光熱水料費	56,880	65,700	△ 8,820
賃借料	10,044	0	10,044
租税公課	0	1,796	△ 1,796
手数料	324	108	216

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
車両関係費	0	24,864	△ 24,864
雑費	0	3,540	△ 3,540
経常費用計	79,070,319	83,521,637	△ 4,451,318
当期経常増減額	327,339	468,904	△ 141,565
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△ 882,644	△ 1,026,814	144,170
税引前当期一般正味財産増減額	△ 555,305	△ 557,910	2,605
法人税, 住民税及び事業税	151,300	171,900	△ 20,600
当期一般正味財産増減額	△ 706,605	△ 729,810	23,205
一般正味財産期首残高	△ 1,669,981	△ 940,171	△ 729,810
一般正味財産期末残高	△ 2,376,586	△ 1,669,981	△ 706,605
II 指定正味財産増減の部			
(1) 基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	0	0
(2) 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
(3) 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 2,376,586	△ 1,669,981	△ 706,605

ウ 法人会計

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	62,244	62,244	0
基本財産受取利息	62,244	62,244	0
イ 事業収益	0	0	0
事業収益	0	0	0
ウ 受取補助金等	14,719,838	15,010,808	△ 290,970
受取地方公共団体補助金	14,719,838	15,010,808	△ 290,970
エ 雑収益	21	34	△ 13
受取利息	21	34	△ 13
雑収益	0	0	0
経常収益計	14,782,103	15,073,086	△ 290,983
(2) 経常費用			
ア 事業費	0	0	0
イ 管理費	16,022,328	15,029,238	993,090
給料	11,132,656	10,563,150	569,506
諸手当	820,267	514,160	306,107
法定福利費	1,878,569	1,703,853	174,716
退職給付費用	31,920	0	31,920
福利厚生費	58,472	37,135	21,337
会議費	69,336	113,500	△ 44,164
交際費	40,000	40,922	△ 922
旅費交通費	70,230	73,400	△ 3,170
通信運搬費	106,317	107,388	△ 1,071
減価償却費	699,512	755,250	△ 55,738
消耗品費	98,126	59,320	38,806
印刷製本費	17,798	10,346	7,452
光熱水料費	141,221	134,463	6,758
賃借料	192,720	195,120	△ 2,400
租税公課	10,600	15,050	△ 4,450
図書新聞費	2,900	2,900	0
手数料	68,364	69,552	△ 1,188
委託料	496,800	496,800	0
支払利息	0	31,649	△ 31,649
研修費	18,480	37,240	△ 18,760
諸会費	68,040	68,040	0
経常費用計	16,022,328	15,029,238	993,090
当期経常増減額	△ 1,240,225	43,848	△ 1,284,073
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
	円	円	円
固定資産売却損	0	0	0
投資有価証券売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	1,240,225	△ 43,848	1,284,073
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
法人税, 住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	2,274,510	2,274,510	0
一般正味財産期末残高	2,274,510	2,274,510	0
II 指定正味財産増減の部			
(1) 基本財産運用益			
基本財産受取利息	62,244	62,244	0
(2) 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
(3) 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	62,244	62,244	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	37,000,000	37,000,000	0
指定正味財産期末残高	37,000,000	37,000,000	0
III 正味財産期末残高	39,274,510	39,274,510	0

(4) 財産目録

平成31(2019)年3月31日現在

科 目	金 額		
	円	円	円
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金			
手許有高	109,011		
普 通 預 金			
北洋銀行函館中央支店	3,002,456		
前 払 費 用			
放送受信料	6,995		
立 替 金			
国際水産・海洋総合研究センター入居者 使用光熱水費	2,760,452		
流動資産合計		5,878,914	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
第118回中期利付国債	36,905,152		
定期預金			
北洋銀行函館中央支店	94,848		
基本財産合計	37,000,000		
(2) その他固定資産			
什器備品	7,202		
その他固定資産合計	7,202		
固定資産合計		37,007,202	
資産合計			42,886,116
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金			
函館市補助金返還金	111,162		
未 払 費 用			
諸未払費用	3,269,190		
未 払 法 人 税 等			
期末納付額	151,300		
未 払 消 費 税 等			
期末納付額	1,606,300		
預 り 金			
駐車場使用料	18,000		
賞 与 引 当 金			
6月期末手当	832,239		
流動負債合計		5,988,191	
負債合計			5,988,191
正味財産			36,897,925